

単元はじめ

(先生)

跳び箱運動に挑戦したいと思います。3年生の時もやりました。どんな技をやりましたか。

(児童)

台上前転です。

(ナレーション)

今までの学習を想起して、新たな学習へのつながりを持つことで、新たな学習への意欲付けを行うことも大切です。

(先生)

今日から行っていく運動の動き方をみんなで確認していきたいと思います。2つの技がありますので、どんなところでどういうふうに行ったらできるのかななどを、この後聞いていきたいと思いますので、よく見てください。

【動画の視聴】

(先生)

これは何という技ですか？

(児童)

首はね跳びです。

(先生)

または、頭がついている場合は、頭はね跳びといいます。では、今、動画で流しましたが、スライドにしてみます。

(ナレーション)

図や動画を提示して、視覚的に分かりやすく、具体的に運動のポイントを抑えると効果的です。

(先生)

じゃ、実際にこれから跳び箱運動をやっていきますが、どんなふうに行っていけば、最終的にできるようになりますか。

(児童)

試して、やってみて、課題を見付けます。そして、見付けたら動きます。

(先生)

そうですね。そして、その後はどうしていきますか。

(児童)

課題を解決できるように練習します。

(先生)

なるほど、練習して、課題の解決をしていきたい。つまり、試行錯誤をして練習する時間が必要ですね。これを繰り返していくと、最終的にはできるようになるのですね。

(ナレーション)

先生は、子供たちからの意見や考えを引き出しながら、主体的に学習の見通しを持たせるとよいでしょう。

(ナレーション)

子供たちが怪我なく、安全・安心に運動に取り組めるように、安全面の指導は丁寧に確実に行いましょう。

(先生)

では、この後、試しの運動をやります。久々にやるので、自分がどれくらいできるかなっていうのを試してください。

(ナレーション)

できそうな技から経験して、技のポイントや感覚に十分触れられる時間を持つことで、今後の学習への期待感がもてるようにしましょう。

試しの運動で得たことを基に、技のポイントについて、子供たちから引き出し、学級全体で共有することで、今後の学びがいかせるようにしましょう。

単元中盤

(先生)

背中というように、順番についているね。頭がついたよ。背中がついたよ。そして、足が着いたよ。このように順番に跳び箱についているということが大切です。

腰がこうやって反るといいよ。というところもよく見ることができるとよいです。

(ナレーション)

技のポイントを学び、台上前転を行うように回転し、背中が跳び箱についたら腕と腰を伸ばして体を反らせながらはね起きる首はね跳びを、何度も練習してみます。

(先生)

どういうふうに、その自分の課題を見つけて、どんなふうにその課題を解決していけばよいのか、そういったことを考えていければよいのかなと思います。では、まず初めに自分の課題はなんだ。見付けるために こんなことをすれば、青の10番さんのように、自分の課題はこれだって言えるようになるとおもいますか。

(児童)

自分で撮った動画を見て、実際に確認するとか、他の人に見てもらいます。

(ナレーション)

ICT 機器を効果的に活用して、自己や友達の花を確かめると効果的です。

(ナレーション)

先生は、個々の課題に即した言葉かけや適切な補助を行い、少しずつ伸びを実感させながら、指導や助言をしていきましょう。

(ナレーション)

子供たちが個々の課題に応じて、主体的に学習に取り組み、課題の解決に向けて考えたことを伝え合えるように、場の設定や教具の工夫をしましょう。

(先生)

この場所だったら、倒立の状態から反るといふことができるようになる場ですね。では、実際にできている友達がいましたので、倒立の状態から反るといふところが見える位置に移動してみましょう。

(ナレーション)

どこの場所で何を見せたいのかによって、児童の見る位置を配慮することが必要です。

(先生)

もう 1 回だけやってみよう。

(先生)

素晴らしいです。よくできましたね。(拍手がおこる)

(ナレーション)

友達の良い点や伸びを全体で演示する場面を設け、賞賛し合い、価値付けることで学級全体へ学びを広げていきます。

単元終盤

(先生)

それではいよいよね、今日は最後の発表会をしたいと思います。見る方も、緊張感を持って、しっかり応援する気持ちを見てあげてください。いきますよ、スタート。

(先生)

オッケーオッケー！すごいね、できるようになったね。素晴らしい。

(ナレーション)

個々の伸びや成長が実感できるように、単元後半では、技の発表会の時間を設けて、互いに賞賛し合いながら、充実感や成就感を味わえるようにするとよいでしょう。

(先生)

全部の授業が終わって、最後の振り返りがとっても大事です。振り返りをしてほしいと思います。今までも1時間ごとには振り返っていました。今日は最後なので、1番最初の時から思い返して、振り返りをしてほしいなと思います。今日最後の1枚。特別な学習カードを用意してきました。項目を分けてあります。分かったことやできたこと。いろいろあると思います。細かいことでも構いません。それが1つ。2つ目は一生懸命考えたことです。それも成果だと思えます。そして、できるようになった、考えたこと以外にもありますね。例えば、友達と協力できたよとか、こんなふうによかったよとか。そういうのもあると思うので、まずそれを3つ分けましたので、皆さんで考えて書いてほしいと思います。

(先生)

何名かに発表してほしいと思います。

(児童)

綺麗に回ることが最初はできなかったけど、最後はできるようになりました。

(児童)

友達に見てもらおうことで、できるようになるということが分かりました。

(先生)

素晴らしいですね。

(ナレーション)

単元の終末では、単元全体を通して、3つの資質・能力の観点を改めて価値付け、今後の学習や生活にいかせるような振り返りができるといいですね。

(先生)

他にもたくさんあると思うんですが。跳び箱運動は、なかなか日常ではない動きですね。それを一生懸命やるとできなかったことも、よく考えるとできるようになりました。そして、さらに友達とも仲良く運動できたっていうことをしっかり学べたかなと思います。とってもよく頑張りました。素晴らしいです。みんなに拍手。